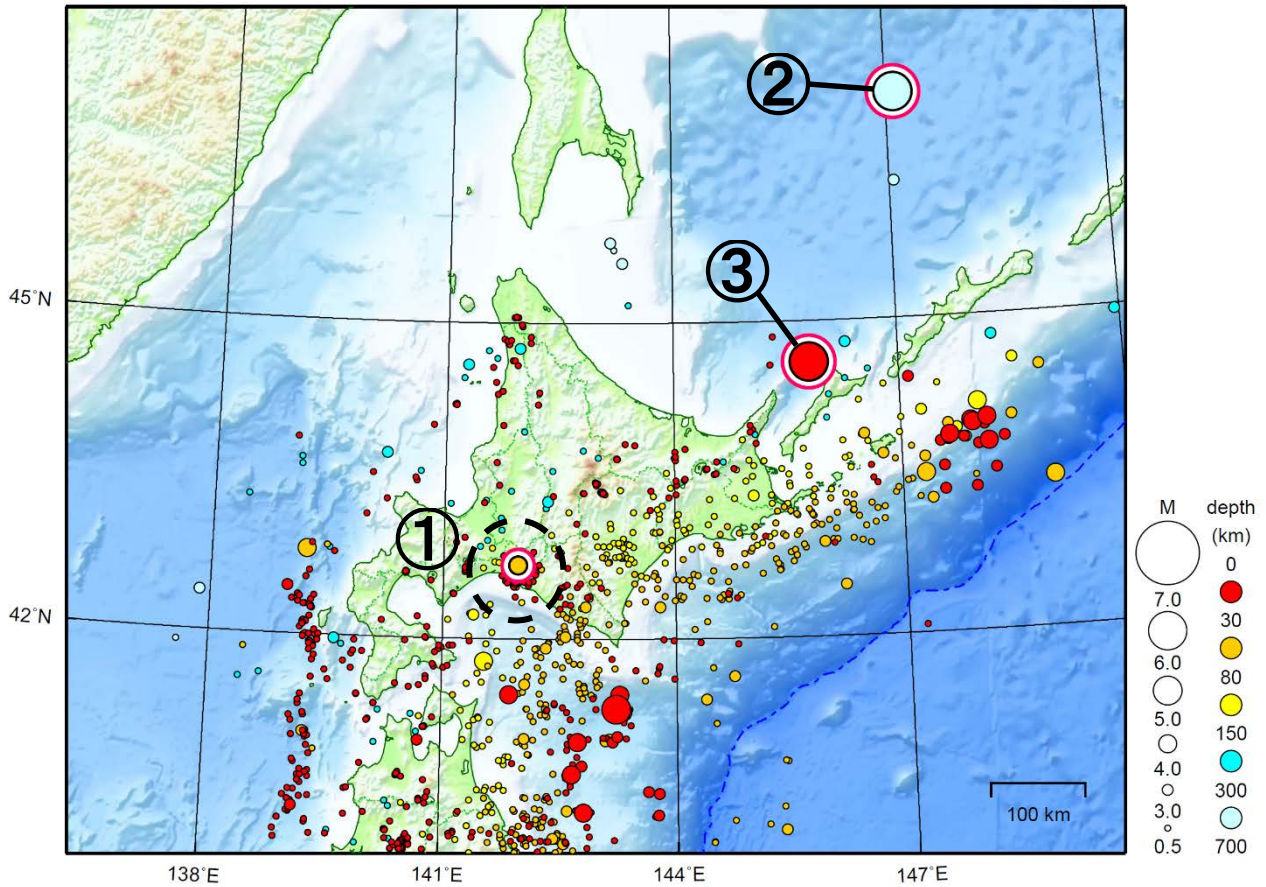


北海道地方

2018/11/01 00:00 ~ 2018/11/30 24:00

N=1642



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 「平成 30 年北海道胆振東部地震」の活動域では、最大震度 4 を観測する地震が 1 回発生した。
- ② 11 月 2 日にオホーツク海南部で M6.1 の地震（最大震度 2）が発生した。
- ③ 11 月 5 日に国後島付近で M6.3 の地震（最大震度 4）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

「平成 30 年北海道胆振東部地震」の地震活動

「平成 30 年北海道胆振東部地震」の地震活動は、引き続き減衰しつつも継続している。これら一連の地震活動は陸のプレート内で発生している。

11 月の最大規模の地震は、11 月 14 日 19 時 07 分に発生した M4.7 の地震（最大震度 4）で、発震機構は東北東－西南西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。M4.0 以上の地震、最大震度 4 以上の地震は、この 1 回のみであった。

一連の地震活動により、死者 41 人、負傷者 749 人、住家全壊 415 棟などの被害が発生した（11 月 6 日 10 時 00 分現在、総務省消防庁による）。

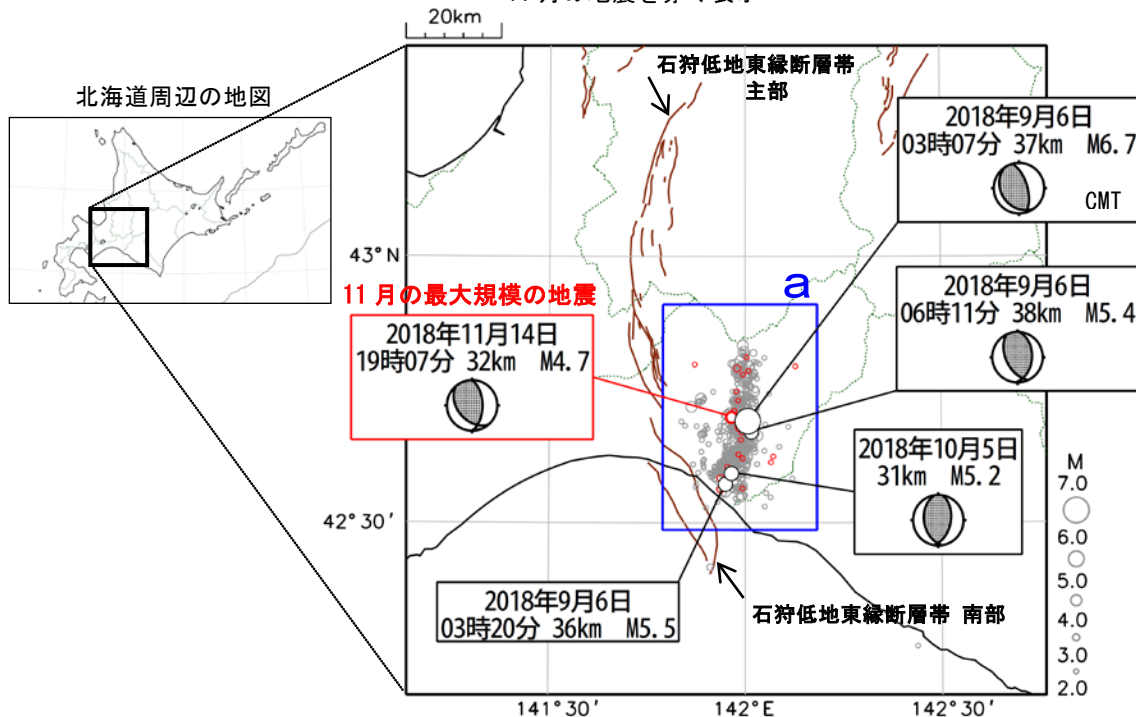
表 「平成 30 年北海道胆振東部地震」による被害状況
(平成 30 年 11 月 6 日 10 時 00 分現在、総務省消防庁による)

都道府県	地方	人の被害			住家被害			非住家被害	火災
		死者	負傷者		全壊	半壊	一部破損		
			重傷	軽傷					
		人	人	人	棟	棟	棟	棟	件
北海道	空知		1	5		2	69		
	石狩	1	4	320	103	566	3,861	33	
	胆振	39	10	339	310	722	4,124	2,226	2
	日高	1	1	39	2	55	542	1	
	渡島			10		1	10		
	宗谷			1					
	十勝		2	16			1		
	釧路			1					
	計	41	18	731	415	1,346	8,607	2,260	2

震央分布図

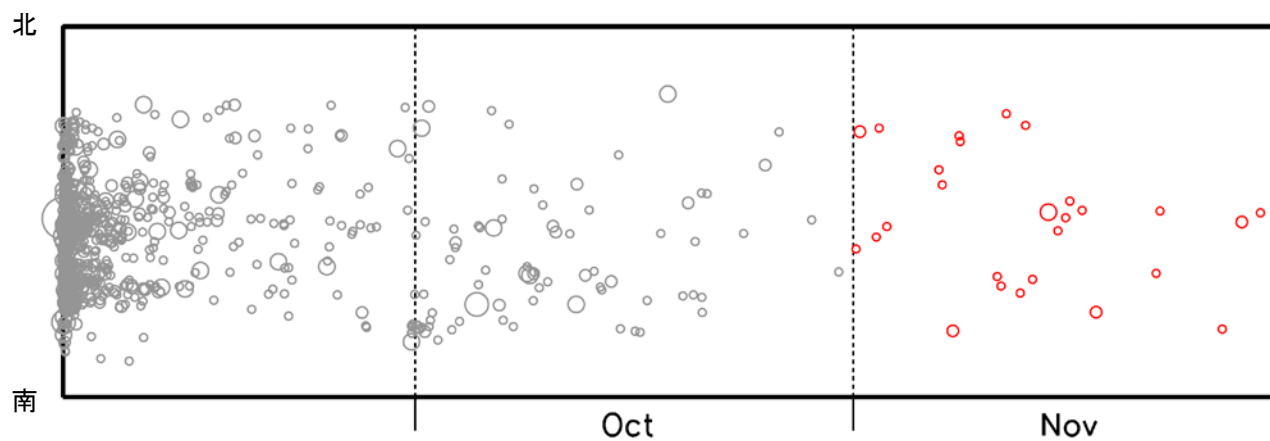
(2018 年 9 月 6 日～2018 年 11 月 30 日、深さ 0～60km、M $\geq$ 2.0)

11 月の地震を赤く表示

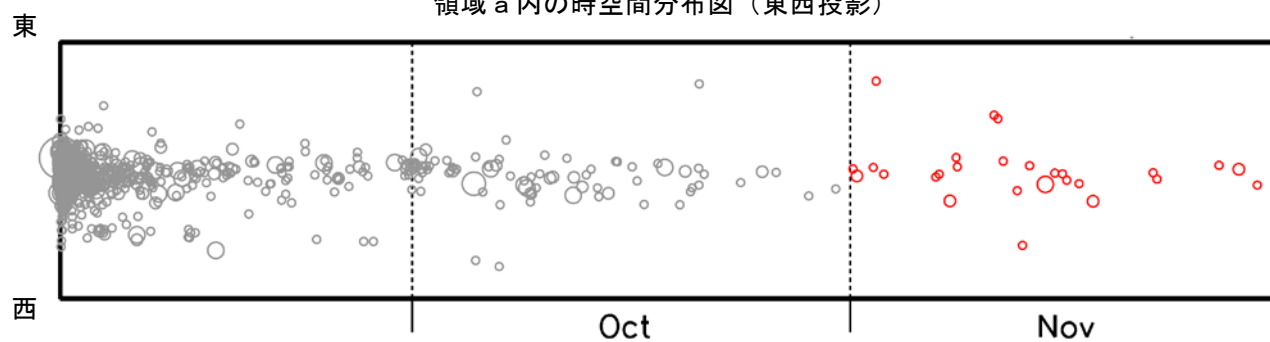


震央分布図中の吹き出しは M5.0 以上の地震 (11 月は震度 4 以上を観測した地震)。また、茶線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

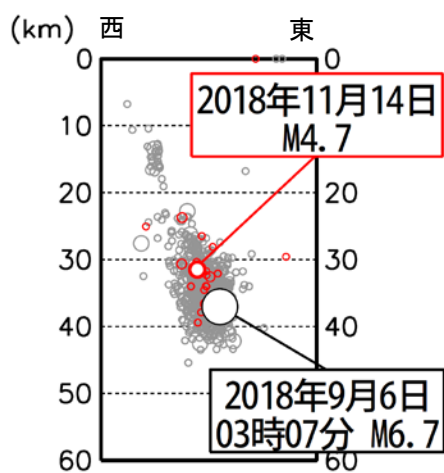
領域 a 内の時空間分布図（南北投影）



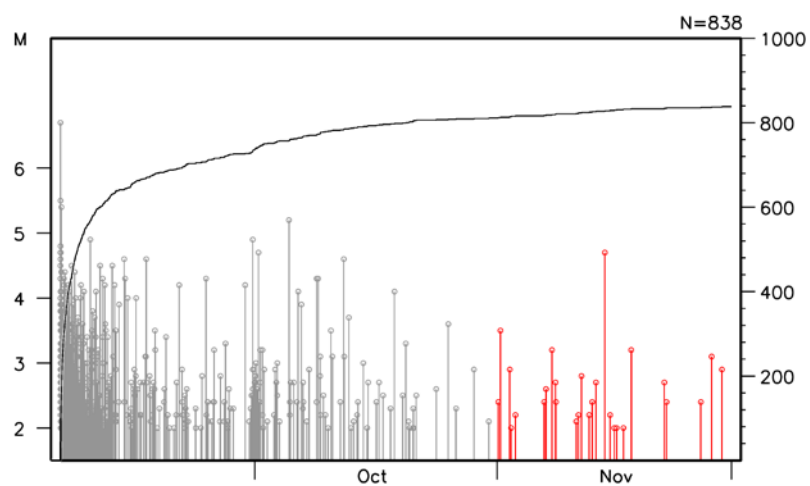
領域 a 内の時空間分布図（東西投影）



領域 a 内の断面図（東西投影）



領域 a 内のM-T図及び回数積算図



「平成 30 年北海道胆振東部地震」の最大震度別地震回数表

平成 30 年 9 月 6 日 03 時～11 月 30 日 24 時、震度 1 以上

(注) 掲載している値（速報値）は精査により暫定値となります。その後の調査で変更する場合があります。

時間帯	最大震度別回数									震度 1 以上を 観測した回数	
	1	2	3	4	5 弱	5 強	6 弱	6 強	7	回数	累計
9/6 03 時～9/30 24 時	151	75	33	16	1	0	0	0	1	277	277
10/1 00 時～10/31 24 時	22	6	2	4	1	0	0	0	0	35	312
11/1 00 時～24 時	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	313
11/2 00 時～24 時	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	314
11/3 00 時～24 時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	314
11/4 00 時～24 時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	314
11/5 00 時～24 時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	314
11/6 00 時～24 時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	314
11/7 00 時～24 時	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	315
11/8 00 時～24 時	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	317
11/9 00 時～24 時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	317
11/10 00 時～24 時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	317
11/11 00 時～24 時	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	318
11/12 00 時～24 時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	318
11/13 00 時～24 時	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	320
11/14 00 時～24 時	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	321
11/15 00 時～24 時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	321
11/16 00 時～24 時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	321
11/17 00 時～24 時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	321
11/18 00 時～24 時	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	322
11/19 00 時～24 時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	322
11/20 00 時～24 時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	322
11/21 00 時～24 時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	322
11/22 00 時～24 時	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	323
11/23 00 時～24 時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	323
11/24 00 時～24 時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	323
11/25 00 時～24 時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	323
11/26 00 時～24 時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	323
11/27 00 時～24 時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	323
11/28 00 時～24 時	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	324
11/29 00 時～24 時	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	325
11/30 00 時～24 時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	325
最大震度別合計	181	85	35	21	2	0	0	0	1		

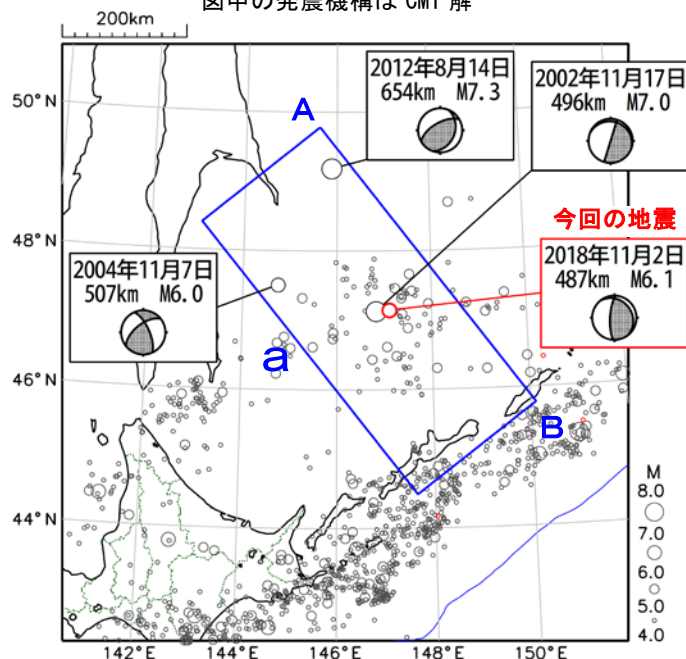
11月2日 オホーツク海南部の地震

震央分布図

(2001年10月1日～2018年11月30日、
深さ 50～700km、 $M \geq 4.0$)

2018年11月以降の地震を赤く表示

図中の発震機構は CMT 解



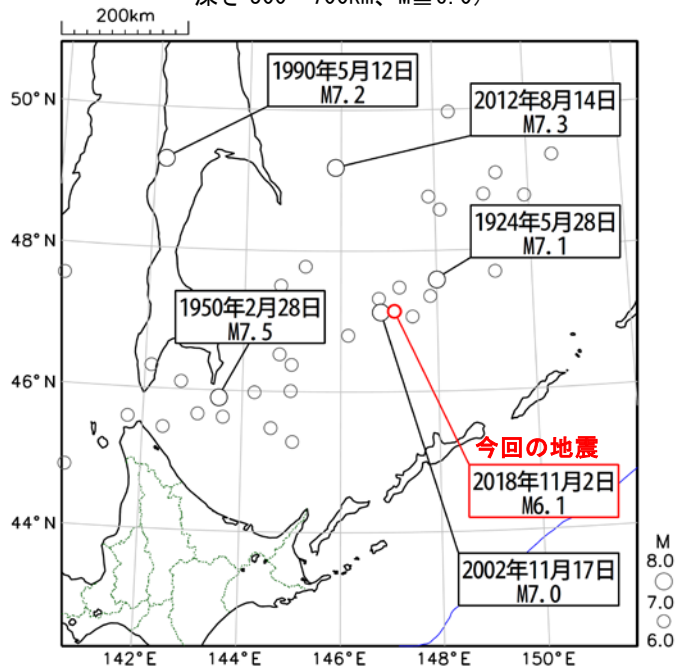
2018年11月2日20時01分にオホーツク海南部の深さ487kmでM6.1の地震 (最大震度2) が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。この地震の発震機構 (CMT解) はプレートの沈み込む方向に圧力軸を持つ型である。

2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、2002年11月17日にM7.0の地震 (最大震度3)、2012年8月14日にM7.3の地震 (最大震度3) が発生している。

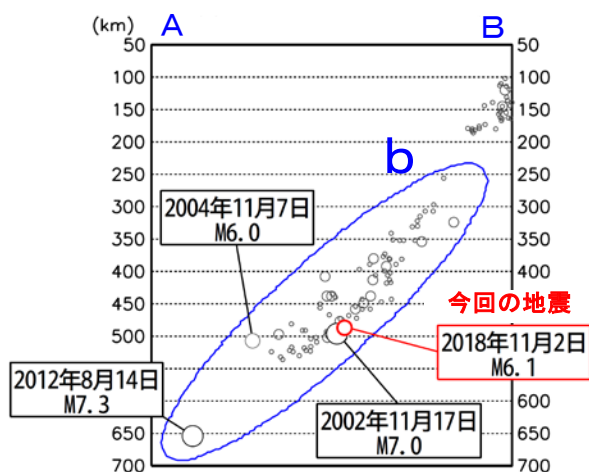
1923年以降の活動をみると、オホーツク海南部の深さ300km以深では、M6程度の地震が度々発生している。

震央分布図

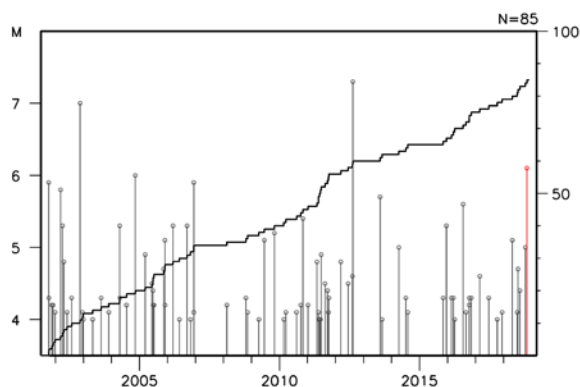
(1923年1月1日～2018年11月30日、
深さ 300～700km、 $M \geq 6.0$)



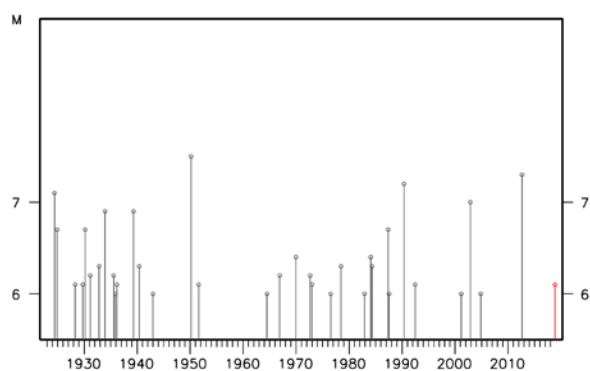
領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



領域 b 内の M-T 図及び回数積算図

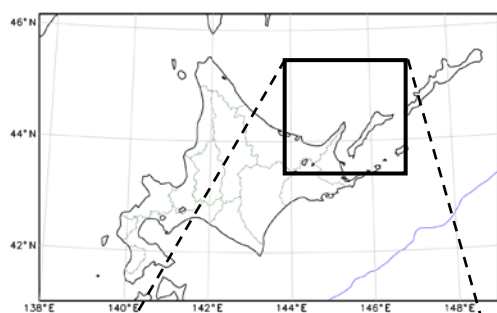


上図内の M-T 図



気象庁作成

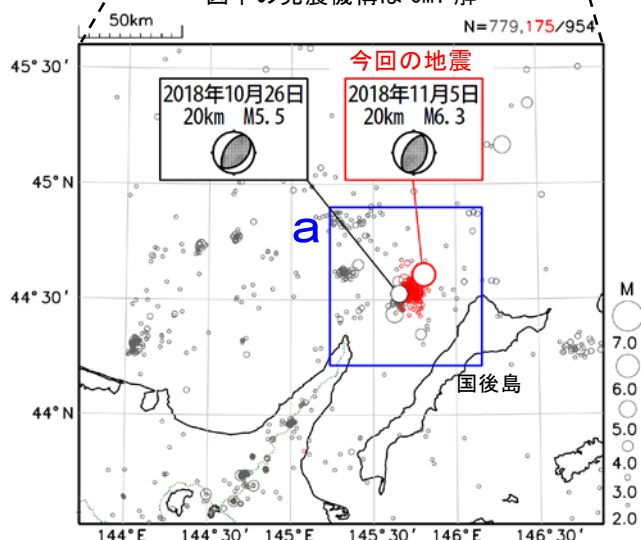
11月5日 国後島付近の地震



震央分布図

(1997年10月1日～2018年11月30日、
深さ0～30km、 $M \geq 2.0$)

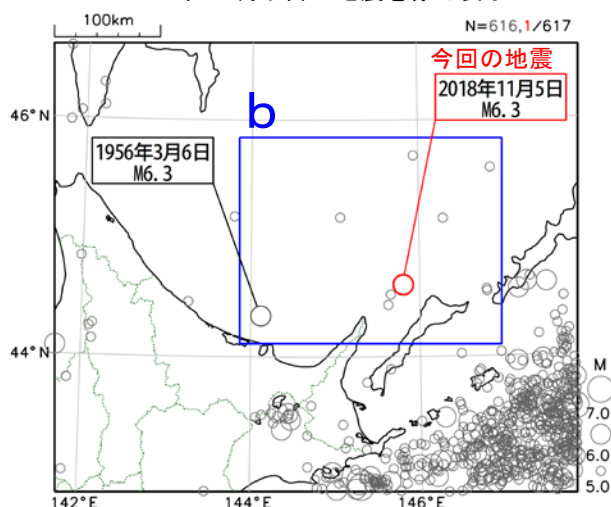
2018年11月以降の地震を赤く表示
図中の発震機構はCMT解



震央分布図

(1923年1月1日～2018年11月30日、
深さ0～60km、 $M \geq 5.0$)

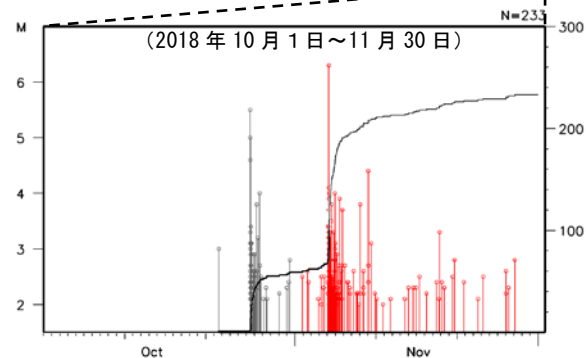
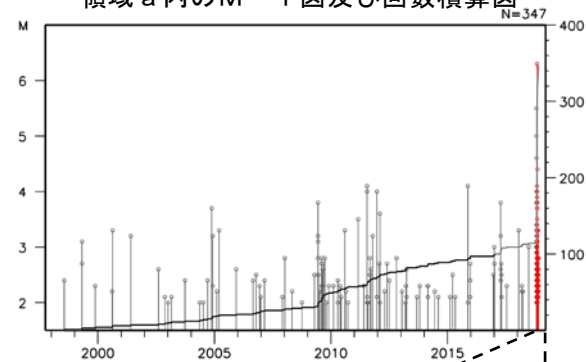
2018年11月以降の地震を赤く表示



2018年11月5日04時26分に国後島付近の深さ20kmでM6.3の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、陸のプレートの地殻内で発生した。今回の地震とほぼ同じ場所で、同年10月26日12時04分にM5.5の地震(最大震度3)が発生し、地震活動が活発となっている。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近(領域a)では、M4.0程度の地震が度々発生しているが、M6を超える地震は今回が初めてである。

領域a内のM-T図及び回数積算図



1923年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、M6.0以上の地震はまれに発生している。今回の地震の震央から西南西に約120km離れた場所では、1956年3月6日に網走沖でM6.3の地震(最大震度3)が発生し、ごく軽微な被害を生じた(「日本被害地震総覧」による)。また、網走では7cmの津波を観測した(「北海道の地震津波」(札幌管区气象台)による)。

領域b内のM-T図

